



《将来に向けた取組方針》

ヴェオリアは、環境サービス事業を提供する企業として、各事業所が環境負荷低減に大きな役割を担っていると考えています。当社のパーパス（存在意義）である「SDGsの達成に全力で取り組み、より良くより持続可能な未来を実現して、人類の進歩に貢献すること」を念頭に、以下の2点において環境と生物多様性の保全に積極的に関与します。

1. 事業活動が環境に与える影響の低減、
2. 生態系および種の保全に良好な状態の創出

《これまでの取り組み》 2023年までの中期経営戦略でKPIを設定し、以下の活動に取り組んでいます。

● 環境と生物多様性の保全

1. 化学農薬の使用ゼロ

当社が管理する緑地では、化学農薬の使用を控える取り組みを推進しています。当社グループ独自の緑地憲章を制定し、緑地管理委託会社と連携した上で、環境および生態系に配慮した緑地管理を目指しています。2021年6月時点で2つの事業所で緑地憲章を締結し、今後も日本各地へ取り組みを広げます。

2. 生物多様性診断の実施と対策

生物多様性の状況を把握し、適切な対策を取るために調査を行っています。2016年には千葉県の実業所で調査を行いました。2021年も1件実施する予定となっており、引き続き活動を継続していきます。

3. 社内意識啓発

2018年に独自のe-ラーニング教材を開発・展開するなど、定期的に生物多様性の啓発活動を行っています。2021年は従業員参加型のキャンペーンやワークショップを開催し、日々の業務に生物多様性の視点を取り入れるよう活動を推進しています。

